



関西医科大学泌尿器科学教室
Department of Urology & Andrology, Kansai Medical University

尿管部分切除術を受けられる患者様への説明文書・同意書

● 麻酔方法

全身麻酔で行います。また、術後の痛みを少なくするために背中よりチューブを入れることもあります（硬膜外麻酔）。

● 手術の方法

尿管にできた腫瘍や狭窄部位など問題となる部分を中心として、問題のない部分まで尿管を切断し、その後残った尿管の端と端を縫い合わせます。開放（開腹）手術にて行います。尿管と尿管を継ぐことが出来ない場合は、他の方法により対応致します。尿管吻合を行った部分については一時的に浮腫（腫れ）が起こり尿の流れが悪くなったり、尿のもれが起こるなどの問題が起こりますので、手術時に尿管ステントというカテーテルを入れます。このカテーテルは手術後傷が良くなった段階で抜きます（膀胱の中をカメラでのぞき経尿道的に抜きます）。

● 手術の合併症

ほとんどの患者様で、手術は安全に行われ、術後の順調に回復されますが、100%安全に手術ができるとは限りません。低い確率であっても、何らかの合併症が発生する可能性のあることをご理解下さい。

出血：

血管の損傷などによる大きな出血が起こる可能性があります。輸血が必要となる場合があります。

血尿：

尿管を手術するため血尿がしばらく出ますが、自然に治る場合がほとんどです。

他臓器の損傷：

腸管、膀胱、子宮、卵巣など手術部位に近い部分を術中に傷つける可能性があり、その場合にはそれらの臓器の摘出を含め、適切に処置しなければなりません。

術後の創感染、離開：

傷の縫い直しが必要になることもあります。

感染、発熱：

術後の細菌感染を予防するために抗菌薬を用いますが、腎盂腎炎が生じ、高熱のことがあります。まれに敗血症となることもあります。



関西医科大学泌尿器科学教室
Department of Urology & Andrology, Kansai Medical University

尿管部分切除術を受けられる患者様への説明文書・同意書

創ヘルニア：

傷の下の筋膜がゆるんで、腸が皮膚のすぐ下に出てくる状態で、手術が必要になることがあります。

尿の溢流：

尿が腹腔内や後腹膜腔に漏れ出すことです。再手術が必要になる場合があります。

尿管狭窄：

手術にて継いだ尿管部が傷の治りとともに狭くなる事があります。これに伴い尿の流れが悪くなり、手術側の腎臓の機能が悪化する事があります。この場合狭い部分を広げるなどの処置が必要となる事があります。

術後の腸閉塞：

術後に、腸管の動きが悪かったり、腸管が癒着したりして、腸閉塞の状態になることがあります。のどからくだを入れるなどの処置や、場合によっては手術が必要になることがあります。

術後の腹膜炎：

小さな腸の傷に気がつかなかった場合、後で腹膜炎となり、手術が必要になる場合があります。

術後の肺梗塞：

おもに足の血管の中で血液がかたまり、これが血管の中を流れて肺の血管を閉塞する、重大な合併症です。この合併症を予防するために、手術中には専用のストッキングをはいていただきますが、術後もできるだけ早く歩行していただくことが大切です。



関西医科大学泌尿器科学教室
Department of Urology & Andrology, Kansai Medical University

尿管部分切除術を受けられる患者様への説明文書・同意書

● 診療情報・材料の教育研究目的での使用に関するお願い

関西医科大学腎泌尿器外科では、よりよい診断法や治療法の開発のための臨床研究を常に行っています。また、大学病院として学生や研修中の医師の教育（学生講義、教科書執筆、学会での教育セミナーなど）にも力を注いでいます。さらに、近年は専門医・認定医としての資格制度も多数制定され、多くの医師が取得を目指しています。これらの研究、教育、資格応募に際して、患者さんの診療情報（血液データ、画像データ、手術画像など）と診療材料（余剰血清、摘出組織の一部など）を使用しなければならないことがあります。また、治療の成績を明らかにするために、患者様の治癒状態についての調査（治療後に患者様個人宛に調査用紙を送付することや、お電話で健康状態についてお尋ねをすること）も重要な作業です。患者さんの個人情報厳密に保護され、氏名、住所などが診療目的以外に使用されたり外部に漏れたりすることは決してありません。御理解の上、御協力いただければ幸いです。

協力いただけるかどうかはあなたの自由で、協力しなくても診療上の不利益を受けることは決してありません。いったん協力に同意されても、いつでも撤回でき、撤回しても不利益を受けることは決してありません。



関西医科大学泌尿器科学教室
Department of Urology & Andrology, Kansai Medical University

尿管部分切除術を受けられる患者様への説明文書・同意書

その他、特に説明した内容

- (1) _____

- (2) _____

- (3) _____

不明な点がありましたら、主治医、担当医にお尋ねいただくか、腎泌尿器外科外来までお知らせください。

以上の点について、患者様、患者家族に十分説明いたしました。

@SYSDATE 説明医 @USERNAME

以上の点について説明を受け、よく理解し、手術に同意します。

@NENGOU 年 月 日 患者氏名 _____

患者家族名 _____